

浄化槽の設置でキレイな排水に

私たちは毎日の生活の中で1人1日あたり約200リットル以上の水を使用し、その水のほとんどは、最終的に川や海へと流れていきます。浄化槽は、日常生活で生じた生活排水やし尿を微生物の働きで分解し、きれいな水にして放流するために、各家庭や事業所などが設置する個別汚水処理施設です。浄化槽には、し尿のみを処理する単独浄化槽と、し尿と台所・浴室・洗濯などから出る生活排水を処理する合併浄化槽の2種類があり、現在新たに設置できるのは合併浄化槽のみとなっています。汚水処理の指標として「汚水処理人口普及率」があり、平戸市は県内ワースト3位の

37.8パーセントと非常に低い現状にあります。生活環境の保全と公衆衛生の観点から、浄化槽の設置による汚水処理人口普及率の向上は喫緊の課題です。平戸市では、新たな合併浄化槽の設置や、汲み取りまたは単独浄化槽から合併浄化槽への転換に対する補助金を交付していますので、ホームページまたは市民課窓口にてご確認ください。また浄化槽設置後は、正しく機能するために法定検査と定期的な保守点検、清掃が必要となります。平戸の豊かな自然を守るためにも、合併浄化槽の設置と適切な管理にご協力ください。

問 市民課生活環境班 ☎22-9121

教师节(前編)

中国では毎年9月10日は「教師の日」、「教师节」と定められています。今回は、今でも忘れられない恩師とのエピソードを紹介します。皆さんは中学校で1番思い出に残っていることは何ですか。私の1番の思い出は、「テスト漬け」の生活です。私の中学校では、2年生からテストの成績によって、「普通クラス」3つと「実験クラス」(エリートクラス)2つに分けられます。その後、2カ月ごとにテストが行われ、3回連続90位内に入らないと実験クラスから普通クラスに「降格」します。

当時、私は実験クラスBにいて、テストのプレッシャーに押し潰され、3回目のテストの結果、私は90位でした。結果をもらった日の夜に、私は涙ながら担任の先生に電話しました。「もう無理です。普通クラスに行きたい」と言いました。その時、担任の先生から「丁さんは本当に頑張った。私の母は最近病気で入院しました。今、丁さんのクラスを担当しながら、毎日病院に通って、母の面倒をみている。本当に疲れて、もう無理だと思ったとき、私のクラスの丁さんたちのために、もうちょっと頑張らなければならぬ」と思っています。丁さん、もうちょっと頑張ってくださいませんか。丁さんならできると話してくれました。(来月に続く)



国際交流員
丁睿明
(テイ・エイロウ)
(中国出身)

問 文化交流課交流推進班 ☎22-9143

「平戸よかよか体操」オリジナルCDおよびDVDを無償貸し出し中です!

— みんないきいき元気に —

高齢者の通いの場訪問

VOL.61

平戸市では、高齢者がいつまでも元気でいられるために、身近な地区公民館などで健康体操「平戸よかよか体操」を毎週行う場の設置を推進しています。このコーナーでは、各地区の「高齢者の通いの場」を毎月紹介いたします。

問 長寿介護課高齢者支援班(地域包括支援センター) ☎22-9133



「万場フレンズ会」

万場地区では、平成30年12月から平戸よかよか体操を行う通いの場を始めました。もともと老人クラブとして活動していた団体で、参加する人たちがみんなが「仲間であり、友達」という想いを込めて「万場フレンズ会」としました。皆さん、日常会話や情報交換ができる週に1回の場を楽しみにして、体操が始まる20分前には集まり、和気あいあいと談笑が始まります。出席率も高く、万場営農研修センターからはいつも笑い声があふれています。

Interview



万場フレンズ会
代表
天羽良二さん
(田平町)

シルバーリーダー研修会で平戸よかよか体操の体験をし、万場老人会でも始めるべきだと思い、会員の皆さんに勧めて活動を始めることにしました。体操後は、体調が良くなったとの声も聞こえ、始めてよかったと思っています。新型コロナウイルスが流行する前には、佐賀市の東与賀海岸シチメンソウ群生地への日帰り旅行や茶話会なども行っていました。また、竹細工でカブトムシなどを作り、道の駅での販売にも取り組んだこともあります。これからも会員の皆さんの健康が維持できるように活動を続けていく想いです。

活動日/毎週木曜日
午後1時30分～午後3時ごろ
活動場所/万場営農研修センター
開催地区/万場
代表/天羽 良二

